

みの～れは「明るい・元気・エネルギー」な場所です



四季文化館企画実行委員

う え た
植田 みのりさん

「みの～れに携われるのはうれしいです」
と話す植田さん

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.157

今年は8月に入り、長い梅雨が明けました。燦々と輝く太陽、にぎやかな蝉の鳴き声、夏の香り・楽しい夏も今年の夏は新型コロナウイルスの影響で今までとは違った生活をする事になりました。背高のつぼのひまわりや、甘い香りのおしろいばな、早起きの朝顔が目を楽しませてくれますね。熱中症にならないように水分を取りましよう。今回は四季文化館企画実行委員で小美玉市小川地区にお住いの植田みのりさん取材します。

植田さんは3月に小美玉市役所を退職して、4月から小美玉市生涯学習施設「やすらぎの里小川」に勤務しています。「やすらぎの里に勤務して、小鳥のさえずりや、虫の鳴き声を聞きながら良い環境の中で仕事をさせていただいています。園児たちや、高齢のデイサービスの利用者や、高年齢の人の人と関わるのが好きで、何をしたら来てくれた人たちの喜ばせることができるかなと考えています。グリーンカーテンにゴーヤや朝顔を植えて、孫の面倒を見るような気持ちで育てています」と笑顔で話してくれました。

4月からみの～れの企画実行委員になったきっかけを聞いてみました。「前からみの～れに企画実行委員会があるのは知っていましたが、今回お誘いがあった委員にならせていただきました。コロナの影響で6月に委嘱状とまちづくり編集会議の本や15周年記念誌をいただきました。市民が立ち上げたみの～れと聞いてい

ますが、合併して館長さんや携わっていた人たちから話を聞いて、皆さんの熱い思いに感動しました。みの～れに私も携われることが嬉しいし楽しみですね」と植田さんは話してくれました。

趣味を聞いてみました。「旅行が好き、読書も好きです。物作りも好きで今の時期だったら、折り紙で朝顔を作った壁面にして展示しています。それから色々な人の講演に行くのが好きです。例えば、お医者様や、体操の内村選手のお母様の講演に行ったりして、その人のストーリーを聴きに行くのが好きです。人の話を聞くと『ああ、そうだな』と納得いく部分もあるし『あーちよっと違うかな?』と思うところがある。いろいろな発見できていいですよ。いくつかになっても人に元気を与えられたらいいなとも思っています。自分の事ってほとんど分からないと思うんですね。企画実行委員になったのも新たな発見ができたらいいな

と思っただけです。生活にまた一つプラスになってきていると思います」と嬉しそうに話してくれました。植田さんにとってみの～れはどんなところですか?と聞いてみると、「とにかく明るい・元気・エネルギーがシユなところです。ミュージカルや公演を観に来た時、キャストや支援隊の方の笑顔が素敵です。笑顔を見るだけで自分も元気になって変わるところだと思っています。みの～れの事業にまだ関わっていないので、なにか自分で携わっていくものができればいいなと思っています。いろいろな経験をしながら新たな発見をしてみたい。自分の中ではやっぱり興味という言葉と疑問という言葉が天秤にかかっている。自分だったらどうかな?自分だったらどうしようかな?って考える時間も好きですね」と話す植田さんから私もたくさん元気をいただきました。企画実行委員会での活躍を楽しみにしています。

(藤田佐知子)